

シンポジウム

いばらき湖沼市民会議

諏訪湖と市民活動

～環境保全とゆるやかな連携を考える

2025年 2月2日

13:00～16:30

会場 茨城県霞ヶ浦環境科学センター多目的ホール

葛飾北斎《富嶽三十六景 信州諏訪湖》東京富士美術館蔵「東京富士美術館収蔵品データベース」収録を加工
(<https://www.fujibi.or.jp/collection/artwork/01167/>)

ワカサギの氷上釣りで知られる諏訪湖は、その流域とともに長い歴史と文化を育み、人々の生活を支えてきた信州最大の湖である。

近年はヒシ対策に悩まされつつも、環境保全とまちづくりを兼ねた取り組みにより、観光地としての人気度も高い。

「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖」を長期ビジョンに掲げた諸活動を視察し、湖沼の恩恵と利活用、湖沼と共存する市民生活の現状、流域市民のゆるやかな連携について考える。

● 第1部 (13:00～)

1 挨拶：(一社)霞ヶ浦市民協会理事長 市村和男

2 基調講演

沖野外輝夫氏(信州大学名誉教授・諏訪湖創生ビジョン推進会議会長)
「湖沼の環境保全における住民活動の役割 ～諏訪湖を事例として」

3 活動事例発表(リモート参加)

- ① 長野県諏訪湖創生ビジョン推進会議
- ② 諏訪湖クラブ

休憩

● 第2部 (15:00～)

4 意見交換会

コーディネーター・講評：黒田久雄氏(茨城大学農学部教授)
パネリスト(以下敬称略・順不同)

- ① 認定NPO法人 穴塚の自然と歴史の会理事長 森本信生
- ② 土浦の自然を守る会代表 萩原富司
- ③ ほこたグローバルブランディングプロジェクト代表 大曾根政幸
- ④ 水戸環境保全会議会長 高橋正道
- ⑤ (一社)霞ヶ浦市民協会理事長 市村和男

- ▶ 参加費無料。氏名・年齢・連絡先(住所・電話等)を明記の上、当協会までお申込みください
- ▶ 会場参加者募集は約70名とさせていただきます(多数の場合は先着順)
- ▶ 動画配信を希望される方は、連絡用メールアドレスを明記の上、お申込みください(裏面参照)
- ▶ 内容の一部変更、または、事情により開催が中止になる場合があります

主催

茨城県県民生活環境部 環境対策課
受託団体 一般社団法人霞ヶ浦市民協会

問合先

一般社団法人霞ヶ浦市民協会
〒300-0043 茨城県土浦市中央 2-2-16
E-mail: kcajimukyoku@dream.com
TEL: 029-821-0552・FAX: 029-821-6209
業務時間: 月・水・金曜日 10:00～15:00